

# 個人企業経済統計研究会（平成28年度第1回）議事概要

1 日時：平成28年11月4日（金） 10:00～11:35

2 場所：総務省統計局 7階中会議室

3 議題：（1）個人企業経済統計の調査項目について  
（2）その他

4 出席者：

構成員：森 博美 法政大学経済学部教授〔座長〕

菅 幹雄 法政大学経済学部教授

馬場 康維 統計数理研究所名誉教授

平田 博紀 共栄大学国際経営学部准教授

審議協力者：内閣府経済社会総合研究所 多田企画調査課長（代理：山岸課長補佐）

統計局：千野統計調査部長、北原調査企画課長、永島経済基本構造統計課長、

高橋経済基本構造統計課企画官、岩永経済基本構造統計課調査官

5 議事概要

- 「個人企業経済統計の調査項目について」見直し案を事務局より説明を行い、その後議論。次回以降、集計の方法等を含めて引き続き検討を進める。

## 【主な意見等】

### ○ 新規設問項目について

#### <副業の有無>

- ・副業の有無を把握するというのは非常にいいと思うが、事業を行っている場所でのことであると明示するなど、質問の仕方には工夫が必要。

#### <営業用住所の有無>

- ・結果の有効活用などについて今後、議論が必要。

#### <受託の有無>

- ・製造業での下請けなど、もっとイメージが伝わるように工夫しないといけないではないか。

#### <男女別の追加>

- ・男女別統計の部分については、議論の余地はないと思う。

### ○ 削除調査項目について

#### <開設時期>

- ・名簿データベースから取ってくるため、不要ということで了解。

#### <営業上の資産及び負債>

- ・今後も書きたくない可能性が高いということであろうから、削除は妥当。

#### <営業経費>

- ・青色申告で、賃借料の欄がないので、回答できないというのは理解できる。
- ・利子割引料については、SNAで利用しているので必要なのではないか。
- ・損害保険料については、供給サイド側から算出することは可能であるため、いらんと思われる。

- ・ サンプルサイズが37000と増えるので、記入率が低くてもある程度、回答件数は確保できるのではないか。
- ・ 回答時期を確定申告の後にして、転記してもらおうとか、集計の際に、0以上の回答のみ対象とするとかやりようはあるのではないか。
- ・ 郵送調査で、関係書類を引っ張り出してきて、きちんと転記してもらえるのか。不安定な数字を回答してもらっても、その結果数字が一人歩きするようなことは避ける必要がある。

<設備投資>

- ・ 土地購入を除くのは問題ないが、中古を除くのは実態とは異なってくると思う。もちろんSNAでの利用など、マクロで考えた場合は新規設備投資のみで問題ないが、個人事業主では、中古設備を買うケースが多いので、把握をすべき。

○ 修正調査項目について

<事業経営上の問題点及び今後の事業展開>

- ・ 現行の詳細な項目の方が、多変量解析を行うことを考えると使い勝手がいいのではないか。
- ・ 都道府県別集計などの集計を考えた場合は、簡素化した方が望ましいであろう。
- ・ 利用者にとっては項目は多い方がよいが、記入者負担の側面も考えて判断する必要がある。

<営業日数及び営業時間>

- ・ 9月など、ある調査月の状況を聞くということも考えられるのではないか。
- ・ 9時～22時といった記入のイメージだろうが、お店によっては、9時半営業開始といったようなケースも考えられる。

6 次回開催予定

年明けを予定。具体的には、改めて調整する。

以上